

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【公開番号】特開2013-54145(P2013-54145A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-191218(P2011-191218)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1333 (2006.01)

G 02 B 5/30 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1333

G 02 B 5/30

G 03 B 21/14 Z

G 03 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月13日(2014.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を変調する液晶パネルと、

前記液晶パネルの有効画素領域外に光が入射しないように規制する遮光板と、

前記液晶パネル及び前記遮光板における前記光の入射側に配置される光学補償素子と、

前記光学補償素子を前記遮光板に対して間隔を空け、かつ他の部材に接触させずに保持する光学補償素子ホルダと、

を備える液晶表示ユニット。

【請求項2】

前記遮光板は、開口窓を有する主面部と、前記主面部よりも前記液晶パネルから離反した位置に配置されて前記主面部を支持する段差面部とを有し、

前記光学補償素子ホルダは、前記光学補償素子を保持する保持部と、前記主面部よりも前記液晶パネルから離反した位置に配置されて前記保持部を支持する支持片と、を有する請求項1に記載の液晶表示ユニット。

【請求項3】

前記光学補償素子における前記光の入射側にプレ遮光板を設け、

前記光学補償素子ホルダは、前記プレ遮光板と前記遮光板によって形成される空間内に前記光学補償素子を宙吊り状態で保持する

請求項1又は2に記載の液晶表示ユニット。

【請求項4】

前記液晶パネルの周囲に配置されて、前記遮光板を支持するパネルカバーと、

前記プレ遮光板を支持するプレ遮光板ホルダと、を設け、

前記遮光板は、前記パネルカバーと前記プレ遮光板に挟持される

請求項3に記載の液晶表示ユニット。

【請求項 5】

前記プレ遮光板ホルダには、前記光学補償素子を保持した前記光学補償素子ホルダが隙間を空けて収まるプレ開口部が設けられている

請求項 4 に記載の液晶表示ユニット。

【請求項 6】

前記光学補償素子よりも大きく開口した開口部を有するパッキンを前記プレ遮光板と前記プレ遮光板ホルダとの間に設けた

請求項 4 又は 5 に記載の液晶表示ユニット。

【請求項 7】

前記光学補償素子ホルダは、前記光学補償素子を光軸回りに回転させるレバーを有する

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の液晶表示ユニット。

【請求項 8】

光を出射する光源と、

前記光源から出射された前記光を変調する液晶表示ユニットと、を備え、

前記液晶表示ユニットは、

前記光を変調する液晶パネルと、

前記液晶パネルの有効画素領域外に前記光が入射しないように規制する遮光板と、

前記液晶パネル及び前記遮光板における前記光の入射側に配置される光学補償素子と、

前記光学補償素子を前記遮光板に対して間隔を空け、かつ他の部材に接触させずに保持する光学補償素子ホルダと、

を備える投射型表示装置。